

第 139 回北信越地区高等学校野球新潟県大会の閉会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

優勝された日本文理高校の皆さん優勝おめでとう。夏の大会で力を発揮できないまま敗れた悔しさを力に変え、練習に励んできたものと思います。本県優勝校として更なる高みを目指し、一つ一つのプレーの精度を上げるよう励んでください。

一方、敗れたとはいえ準優勝の新潟南高校の戦いぶりも見事でした。99 季ぶりに頂点が手に届くところまでできました。これは不断の努力のたまものだと思います。今後のレベルアップに期待しますとともに、一丸となった戦いを期待しています。

今グラウンド上にいる両校とともに関根学園高校、帝京長岡高校も来月 13 日から本県で開催されます北信越本大会に出場することとなります。限られた期間ではありますが、チームとして万全の状態で大大会に臨まれることを期待します。そして、本県が 4 年間遠ざかっている選抜大会出場を是非とも勝ち取っていただきたいと思っています。

さて、今大会は、加盟校 89 校中、5 校が欠場を余儀なくされ、連合チームの出場は、15 校 5 チーム出場と、過去最多でありました。各校が部員集めに苦勞している実情がうかがえ、当連盟としても野球の魅力づくりとその発信を行っていく必要があると考えております。また、現代の社会情勢や地球環境の変化同様、これからの高校野球も今までの固定観念にこだわらず、柔軟な発想と対応力が求められる時代となってきました。私たち新潟県高野連も今までにも増して、生徒の健全な成長を願い、野球を通じた人材育成、社会貢献を目指していく所存です。

保護者の皆さん、高校野球ファンの皆さん、当連盟所属の野球部員たちは、純粹に白球を追うことによって、野球を心から楽しんでおります。そうした加盟校の部員たちの日常にあたたかいまなざしを向けてやってほしいと切に願います。

最後になりますが、大会運営にご協力をいただきました審判委員をはじめ関係の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、それぞれの環境でひたむきに頑張る選手たちに今まで以上の声援を送り続けていただくことをお願い申し上げます。閉会のあいさつといたします。

ありがとうございました。